

2023年

299号

4月19日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部

〒343-0845

埼玉県越谷市南越谷2-13-49

(越労連内)

TEL・FAX 048-989-2472

E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp



新新型コロナウイルスも3月13日からはマスクの着用も自主判断となり、今年は北越谷の元荒川堤でブルーシートを敷き、桜の花を見ながら飲食を楽しむかなと思っていまいたが、市は仮設のトイレを設置しないようなのでこの案は流れました。

このため執行委員会には「春のレクリエーション大会&誕生会」を提起しましたが、久しぶりに飲食を伴う花見をしたいという意見が多く再検討しました。執行委員会で越谷の北から南まで何カ所か候補を出してもらいましたが、適当な所がありませんでした。このため誕生会としては、場所が確保でき、交通の便がよく、トイレの設備も近くにある南越谷グラウンドで行う事とし、桜の下での飲食は無理なので、近くの桜の見どころに「お花見ウォーキング」に行つてから飲食(アルコール可)の誕生会を行うことにしました。

今年は桜の開花が3月半ばと早く

晴天の下、葛西用水「谷古田河畔緑道」の桜 「お花見ウォーキング&誕生会」



その後一週間で満開になりました。誕生会は4月4日(火)この日は天気は晴れて、暖かい日でしたが「お花見」の桜がまだ残っているか心配でした。

参加者は25名、グラウンドゴルフクラブの例会を10時に終わらせてもらい、誕生会の会場の設置を全員で行い、10時45分にラジオ体操をした後、「お花見ウォーキング」に行く人10名(五十嵐光範、森秀夫、足立秀機、浅子豊、堀場久恵、飛山幸夫、飛山まさみ、曾我光枝、丸山やぶ、古川正治さん)、グラウンドゴルフを続ける人5名(長谷川昌弘、石山京子、飯島みや子、岡崎ミサ子、橋本キミさん)、

買い物にいく人3名(和田幸雄、森山久子、吉田健治さん)にわかれしました。

残りの人は誕生会のみ参加の人(天野幸男、川原利雪、島根皓夫、石山博、澤田久子、草薙恵美子、吉田和子さん)です。「お花見ウォーキング」は葛西用水に沿った「谷古田河畔緑道」にある桜の花見です。

3, 4, 5月
誕生の方

左から
長谷川昌弘さん
草薙恵美子さん
吉田 和子さん
澤田 久子さん
堀場 久恵さん



れでも花が残っている木もまだあり(写真参照)桜の花の下で休憩し写真をとりました。参加者中最年長で小中学校同級生だったという曾我光枝さんと丸山やぶさんは完歩できるか心配していましたので、先頭について自分たちのペースで歩いてもらいました。結局無事歩し、歩数は6,000歩程でした。

12時半からは誕生会です、久しぶりにアルコールも可です。暖かい日だったので缶ビールが腹にしみました。缶ビール、日本酒、焼酎などを用意しましたが、桜の花の下での宴会とは異なりアルコールの売れ行きはあまり良くなかったようです。

来年こそは、北越谷の元荒川堤での宴会をやりたいものです。

3, 4, 5月誕生の方5名には支部より誕生花を贈呈しました(写真参照)。最後はじゃんけん大会です。家庭菜園からは早摘りのスナックエンドウ、100円ショップであつた温度計、孫の手、膝のサポーター、何と30枚入りのマスクなど。大体一人一点のお土産がわたりました。全員で後片付けをし14時には終了しました。(五十嵐)

点 睛

「加齢性難聴補聴器助成」 予算化される

高齢者の命と思うほど大事な「加齢性難聴補聴器助成」が2023年度、越谷市で予算化されました。

私たち年金者組合越谷支部は2021年8月の執行委員会では、「加齢性難聴補聴器助成制度」の創設に向けて討議を行いました。全国の仲間、埼玉の仲間と連携して運動しよう確認しました。

文章を作り、要望書を作り「福田新市長に面談し要請しよう」「まずは行動すること」として、吉田支部長・山本副支部長・足立副支部長が代表面談しました。

二人の副支部長は難聴者であり、補聴器を使用していました。

足立副支部長は片耳20万円の補聴器を使用、山本副支部長は30万円の高額で購入したと説明し、「補聴器なしでは生活できません」と訴えました。

対市交渉でも機会ある度に、高齢者の命の次に大切と訴え続けました。

執行委員会では、署名活動を強化し、組合員や市民に集会で訴え続けました。

2022年12月対市交渉や福田市長に直接「加齢性難聴補聴器助成署名」450筆を手渡し、「予算上は大変ですが高齢者の命を守って下さい」と助成金の創設を訴えました。「検討します」との回答があったことは、市内の民主団体の運動の力だと思えました。ついに2023年度の予算化が実現しました。民主市政の実現は市民・高齢者の光です。しかし予算化は少額です。さらなる増額を目指して頑張りましょう。

(まずは行動することです。)

3月議会の予算審査では、補聴器を購入しても合わないため使わなくなるケースがあり、購入時に相談できる体制を求めました。担当から補聴器の認定補聴器技能をもつ相談員は市内に13人いる、実施にあたってはアドバイスができる相談体制も検討していくとの事でした。

(吉田健治)

「ねんきん越谷」次号は300号記念特集号

今年は、越谷支部結成30周年

「総会/講演会」は7/28(金)13:00～北部市民会館第3会議室にて